

# ふるさと納税 寄付者増

## 幸手市 地元産米が好評



「ふるさと納税」寄付者に幸手産の米をプレゼント（幸手市提供）

自治体に寄付すると税金が控除され、特産品などももらえる「ふるさと納税制度」を2008年度から同制度を活用している幸手市は2013年度に全都道府県から過去最高の2067件から計2550万1800円が届いた。本年度分は4月から受け付け開始。30日までの4カ月間で前年度より205件増の2272件（約2304万円）の寄付

ふるさと納税は、自治体に1万円を寄付した場合、8千円の控除が受けられ、2千円が自己負担。各自治体では自己負担以上の贈り物をしていく。市財政課では寄付者が増えた理由について「テレビや新聞などでふるさと納税を紹介している。内容を知らなかった人たちに『お徳感』があるのではないか」とみている。

同市では初年度111件の計263万1千円の寄付があった。5年目の12年度には703件の計875万1510円が寄せられた。13年度の寄付件数は県内2位。1位は宮代町（2264件）で、総額は107万371円を同町より上回っている。昨年度は300万円の寄付者もいた。毎年100万円を送ってくる人もいる。寄付金は教育や健康福祉などの事業に充てている。同市では1万円以上の寄付者に記念品として精米した新

越谷市の「南越谷阿波踊り」が30回目を迎えることから、JR東日本は9日の始発から24日の最終日までの期間、武蔵野線南越谷駅の発車メロディーを阿波踊りの本場徳島県の「阿呆連」が演奏したおは

### JR 南越谷駅 きょうから24日まで

### 発車ベルも阿波踊り

やし「ぞめき」に変える。JRが越谷市から依頼を受け、上のホームと下りホームで異なる電子音を使用している。このほか、22日の前夜祭から阿波踊りが開催されるJR武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅周辺では掲示物が祭りのムードを高めている。JR南越谷駅南口ガラス面には

### 周辺は祭りムードに

縦302センチ、横110センチの阿波踊りシルエットイラストを約1年間貼付する。JR東武線の乗り換え通路の屋根を支える7本の柱には阿波踊りの写真、東武スカイツリーライン新越谷駅東口には参加する78連の連名の一覧を掲載した横断幕を祭り最終日の24日まで貼付する。（岩波里枝）

### 絵はがき作成 小学生が挑戦

さいたま市南区のさいたま中央郵便局とNPO「子ども」の「夢TOS埼玉」は6日、同郵便局で小学生を対象に「絵はがき教室」を開催した。教室に参加した小学生は約50人。宛て名の書き方などはがきの書き方の基本を学んだ後、アサガオの絵はがきの作成に取り掛かった。

## 大宮図書館 原発被災者の今語る

### 「原爆と人間展」

さいたま市大宮区の大宮図書館で開かれている「原爆と人間展」で7日、東日本大震災による東京電力福島第一原発事故のため、福島県双葉町から加須市内に避難している鶴沼友恵さん（39）が講演した。鶴沼さんは現在、双葉町埼玉自治会副会長として、避難住民のコミュニティづくりなどに奔走。事故から間もなく3年5カ月となる原発事故被災者の現状や、これからの課題などを語った。（田付智大）

## 加須に避難の鶴沼さん

鶴沼さんは、双葉町の避難所 転じた福島県いわき市ではなが閉鎖された加須市の旧県立騎く、加須市内で暮らしていると西高校に最後まで残った町民の説明。「お年寄りは旧騎西高校が多くが独居高齢者で、現在も大を出なかつた理由を、『1人で半が町民の幾分が司高かつ多死にたくなから』と答えてい

米の「特選 幸手のコシヒカリ」13・5を配達。送料などのコストを含めて5千円相当を還元している。紙の米袋を使用して保存や見た目を重視。米を受け取った人からは「幸手の米はおいしい」などと好評を集め、「2数年ぶり」も増えた。同課では「幸手市を全国に広め、米のブランド化につなげていきたい」とふるさと納税に期待を寄せている。（新井千恵）

### 振り込め詐欺川柳 奈良井さんら表彰

大宮西署は「振り込め詐欺被害防止川柳コンクール」を開き、7日に同署で行われた表彰式で「わが家には、オシ」という名の「子はいない」を詠んだ奈良井武さん（75）ら5人に記念品が贈られた。同コンクールはさいたま市西区老人クラブ連合会の会員

た。それぞれが借り上げアパートなどに住む今、加須でも町民のコミュニティをつくらなければ」と必要性を訴える。震災から時間が経過し、被災者への心ない声も増えていると指摘した。鶴沼さんは「家賃ただで暮らしているなどたたかれ、引きこもつてつ状態になつてしまった人も」と懸念。過去の震災でも、復興住宅が建つた後に被災者の孤独死と自殺が増えた。これからは心のケアが重要になってくるのに、そうした動きが出てこないし、対策も聞かれない」と話す。

子どもたちは絵はがきを描き終えると、送り先の人への思いを込めて句を考えた。北海道の祖父父母へ送るはがきを描いていたさいたま市緑区の小学4年生、林谷日香里ちゃん（10）は「喜んでくれるといいです」と話していた。（勇有花子）

息子 親に泣きつくはずがない」を詠んだ笹本カホルさん（71）は「老後のために貯めたお金が一瞬にしてなくなるのはとても悲しいこと。少しでも被害をなくしたい」と話した。

同署の吉澤健一署長は「振り込め詐欺は近年の家族制度の弱みに付け込んでいる。被害防止の輪を広げてほしい」と呼び掛けた。（岩崎歩）

とができる。前売の券は大人1200円、子ども（3歳～中学生）600円。問い合わせは同センター（048・728・7111）（048・728・7111）

◆ひかりの森フェア（越谷）29日午後1時～同3時、Bシティ市民活動支援センター。視覚障害者支援協会ひかりの森のフェア。簡単化粧法、気功体験。相談コーナー、ボランティア受け付けコーナーなど。視覚に障害のない人も参加可能。予約不要。問い合わせはひかりの森（048・962・9888）

◆夏季イベント展「新幹線LOVE」（大宮区）9日～10月20日午前10時～午後6時、鉄道博物館。新幹線乗務員の制服や大型精密模型、関連する写真の展示などで、新幹線の魅力を紹介する。入場料一般1000円、小中高生500円、幼児200円（常設展示も観覧可能）。問い合わせは同館（048・651・0088）

◆穴快きの絵展（越谷）17日～31日午前10時～午後7時、和紙の野中野2階ギャラリー。通草。わらべたちの風景など切り絵約30点を展示予定。作家在廊は午後1時～同6時。ワークショップは24日午前10時から小学4年生～中学3年生対象で1800円。同日午後1時から大人対象で2300円。土曜休み。

◆バレエボール教室（上尾）20日午前9時～午後3時、上尾市民体育館。地元バレエボールチーム「上尾メディックス」の選手たちが、市内在住・在学・在勤の小学生や主婦などを対象にバレエボール教室を開催。同選手たちの紅白戦も公開する（紅白戦は誰でも観戦可能）。申し込みは13日まで、定員100人（先着順）。問い合わせは同体育館（048・781・8111）

◆第12回市史講座（幸手）23日、30日の計2回。時間は午前10時～同11時半、市役所第二庁舎2階第1会議室。縄文時代の幸手や榎野地原遺跡と榎野地北遺跡について学ぶ。内容は変更することもある。参加費は無料。定員40人。6日から社会教育課で申し込みを受け付ける。問い合わせは同課（048・43・1111）内線644）

老舗酒井の 奈良井 清酒 浦和名物 048(822)2110

まちひとであい 犯逮捕した。逮捕容疑は同日午前10時10分ごろから、上尾市の無職男性（78）方に息子を装い、「バックをなくした」「中に小切手が入っていた」「代わりに同僚がお金を受け取りに行く」と電話をかけ、現金200万円をだまし取るうとした疑い。同署によると、息子と舌が違